

# ハウス柿の出荷最盛!! 今年も豊作！品質良好です！

J A豊橋（代表理事組合長：伊藤友一）管内で温室栽培の柿の出荷が9月中下旬にかけて出荷の最盛期を迎えます。栽培品種は「次郎」「愛秋豊<sup>あいしゅうほう</sup>」がメインで、特に次郎は豊橋市が生産量日本一の産地。今年も豊作で、色づき・食味とも良好です。

J A豊橋温室柿研究会では、冬場に加温を行い8月下旬から収穫する促成栽培と、冬場に加温せず、12月に収穫する抑制栽培とを組み合わせる栽培。露地栽培の柿が10月中旬から11月下旬に収穫できるため、8月下旬から12月下旬まで、長期にわたる出荷を行っています。

露地では雨などで流れ落ちてしまう果粉（ブルーム）が、ハウス栽培の柿では果実にきれいに残るため、生産者はブルームが取れないように配慮しながら丁寧に収穫や箱詰めの作業を行います。

「次郎」「愛秋豊」は四角く、扁平な形で、シャキシャキとした歯ごたえとコクのある甘さが特徴です。J A豊橋温室柿研究会では5人の生産者がハウス栽培しており、今年も促成栽培では7,000ケース（1ケース4kg）の出荷を見込んでいます。



収穫風景



箱詰めの様子

## 【J A豊橋 温室柿研究会 概要】

栽培面積 促成 66 a 抑制 50 a

生産者 2人 3人

主な出荷先：東京、大阪、名古屋方面

主な品種：「次郎」「愛秋豊」

豊橋市では1980年から温室での柿の栽培を開始しました。

## 【ハウス柿の果樹園へご案内します！】

集合時間：令和4年9月22日（木）午前9：45

集合場所：萩平町公民館（豊橋市石巻萩平町城脇161-6）

※集合場所より園地までご案内します。

【お問い合わせ先】※取材にお越しいただける場合は、必ず事前にご一報ください。

J A豊橋 総務部組合員課（担当：鈴木・加藤） Tel (0532)-25-4105

携帯 090-3309-9075 E-mail: kouhou@toyohashi.aichi-ja.or.jp